



**DOJIN**  
**R18**  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止



「お金がないからこんな  
コトしか出来ないけど…」

そう言って八奈見は  
スカートを捲った



隣に座った八奈見が  
ブラウスのボタンを  
外して...

粘度のある液体が  
閉じたスリットの奥から  
滲み出ている

少しの沈黙と  
心臓の鼓動で俺は  
居た堪れなかった

俺の心にも  
余裕が生まれた

八奈見もこの状況に  
興奮していると判ると

ここからだ八奈見の  
後頭部しか見えないが

チ○ポに伝わる刺激が  
フェラをされているんだと  
証明していた



踊り場に寝転んだ俺の上に  
彼女の影が重なる



八奈見杏菜は処女だった  
はじめて

好きでもないモブ男と  
セッ○スするのだから

俺はてっきり  
袴田と経験済みだと思  
っていたのだが

繋がっている部位を見ると  
血が滲んでいる事が判った



激しく膣内<sup>なか</sup>を擦って欲しいと  
お願いされた俺は

モノ欲しそうに突き出した  
八奈見のお尻を鷺掴みして  
腰を前後に振った

行為の終わった八奈見は  
濡れた瞳で俺を見上げ言った

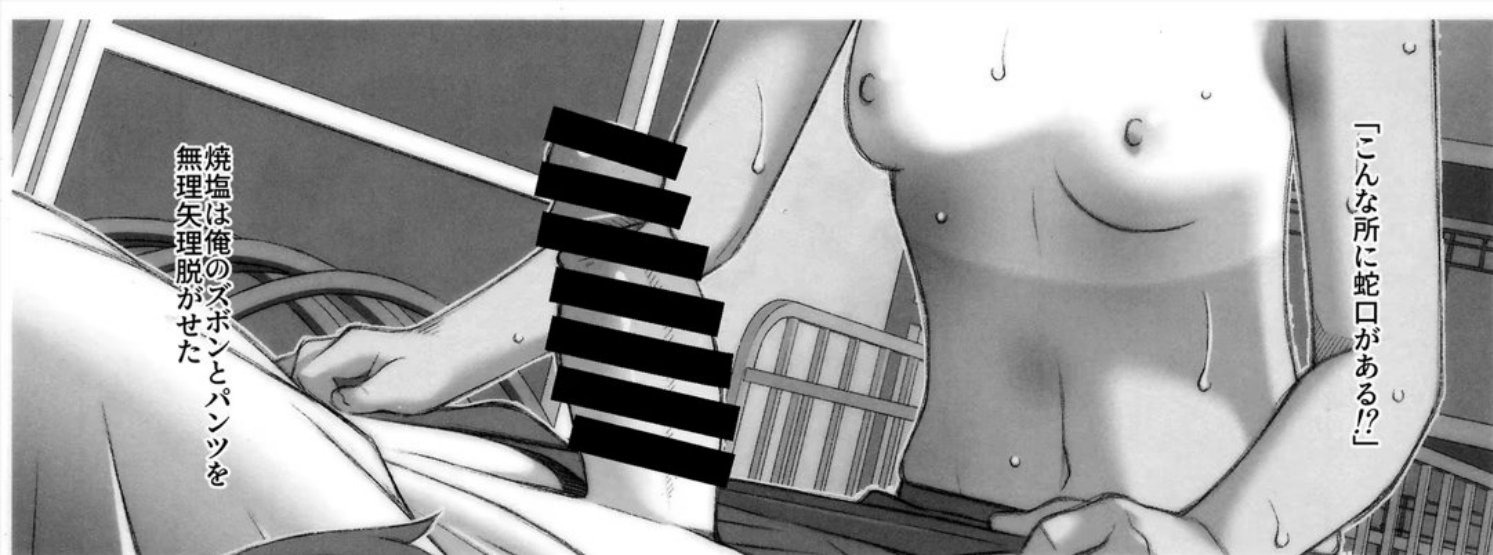
「レシート<sup>レシート</sup>の金額になるまで  
毎日セッ<sup>ス</sup>スあげる♡」



「女同士だから平気でしょう？」

汗だくの焼塩は  
何を勘違いしたのか  
スポブラを脱いで  
俺の上に押し掛かってきた





「こんな所に蛇口がある!？」

焼塩は俺のスポンとパンツを無理矢理脱がせた



喉の乾ききった焼塩は俺のチ○ポを蛇口と勘違いして啜えた



俺は情けない喘ぎを上げなすがままになってしまった



絶妙なバキューム感と  
睾丸をハンドルのように  
握る刺激に



水飲み専用蛇口から  
勢いよく水が出るように

俺の精子は  
焼塩の顔面に直撃した



「うえこの水変な味がする!」

俺のザリ○ンを不味そうに  
吐き出す焼塩

その時、体育倉庫の扉が開き  
担任の甘夏古奈美先生に  
醜態を見られてしまった

養護教諭の小枝小夜は  
ボイスレコーダーで盗聴した

三人の会話を聞いていた



衣擦れの音と  
会話から察するに

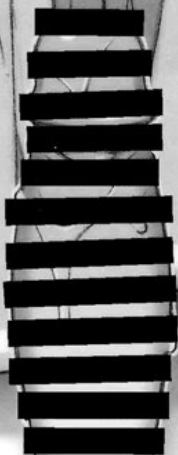
八奈見と焼塩は温水に  
胸を触らせているようだ

古奈美から体育倉庫での  
情事を聞いた限り

焼塩と温水が  
デキている事は判ったが

まさか八奈見とも  
デキていたとは思わなかった

温水という男子生徒は  
地味な見た目に反し  
結構なやり手のようである





三人は一緒に仲良く本番を  
始めたようである

レコーダーから聞こえる  
ギシギシと軋む  
ベッドの音から察するに



八奈見が温水と焼塩の  
セッ○スを実況している

この三人のプレイレベルは  
余りにも高過ぎだ

他の男女のセッ○スを  
女子が実況するなんて

会話から察するに  
焼塩と八奈見が自らのアソコを  
温水に診せているようだ

この三人の盗聴を聞き終えた  
私はもう驚きはしなかった

だが、養護教諭としては  
避妊はしっかりして  
欲しいところではある



ここが強制  
スーパーストリーナだと  
聞いた文芸部女子は

俺の目の前で  
水着を脱ぎ始めた





焼塩は強引に小鞠を連れ出し  
海に投げ込んでいる



月之木先輩は部長と  
水かけっこを始めている



チンポを勃起させた男達が  
残念そうに横切っていく

もし俺が隣に居なければ

八奈見は男達に連れていかれ  
岩場の影で輪姦されたことだろう

そろそろ撤収の時間だ

部長の提案で合宿記念に  
文芸部の集合写真を撮った





■作品名:TYPE-71  
■発行日:2024/05/19(初版)  
■発行元:TYPE-57  
■発行者:Frunbell  
■連絡先:<http://guda3.blog64.fc2.com/>  
■印刷所:栄光印刷様  
■注意:18歳未満の閲覧禁止 無断転写・転載・複製禁止



# TYPE-71

TOOMANILAS AHERNESI  
NASSI KUBOKI JUNTA SHTASH